

(特非) 東京ティーボール連盟 (公財) 東京都軟式野球連盟協働モデル事業

『ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト』

報 告 書

日本ティーボール協会世田谷区連盟

世田谷区軟式野球連盟

2019年3月

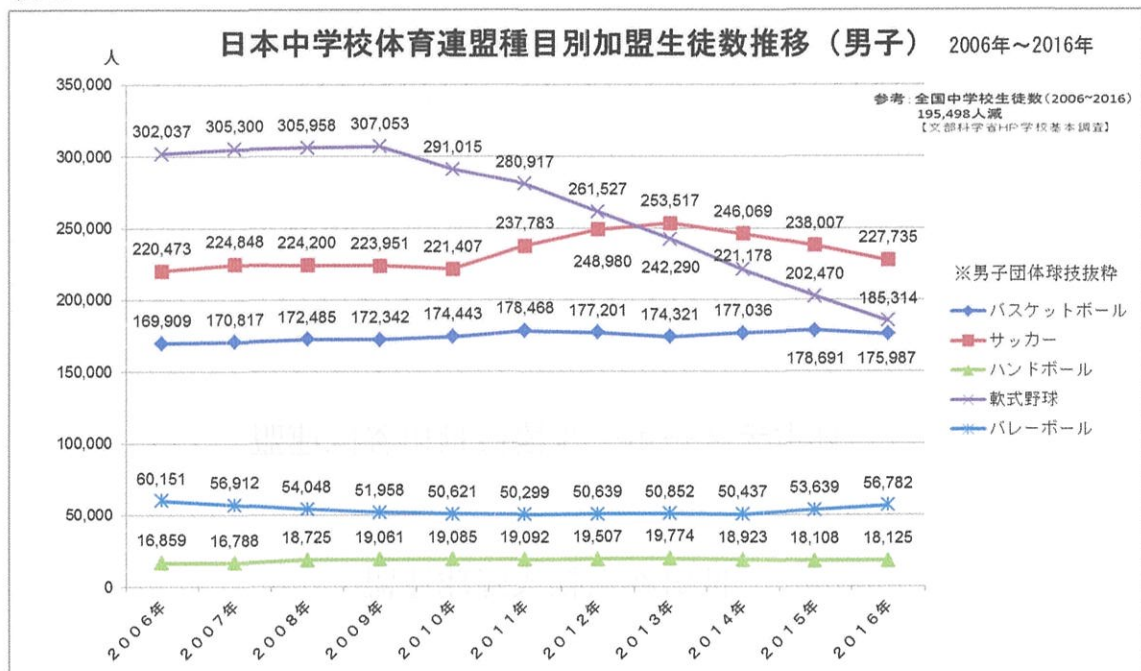
## 1. はじめに

本報告書は（特非）東京ティーボール連盟（以下、東京連盟）と（公財）東京都軟式野球連盟（以下、都軟野連盟）とが「子どもの野球離れ」を共通の問題とし、両連盟の支部組織である日本ティーボール協会世田谷区連盟（以下、区ティーボール連盟）、世田谷区軟式野球連盟（以下、区軟野連盟）が協働し進めたモデル事業の報告である。

## 2. 野球人口減少の現状

野球人口の減少は日本中学校体育連盟（以下、中体連）加盟生徒数（表1）にみられる。また、その下の年代である学童野球人口（小学生）も減少傾向にあり、登録者数減少は連盟組織の財源にも影響を及ぼしている。学童野球や中体連野球部加盟生徒数減少の要因のひとつには、少子化の問題も大きく関係すると思われる。総務省統計局（2018年4月1日現在）によると、15歳未満人口前年比1.16%減、65歳以上人口前年比1.37%増と少子・高齢化が益々進む傾向にある。このことは、野球、スポーツという領域の問題だけではなく、社会問題として幾度となく取り上げられる国の政策課題でもある。

表1



（公財）日本中学校体育連盟 HP 加盟生徒数調査集計より藤川が作成

<http://www.njpa.sakura.ne.jp/kamei.html> 2017/6/27 閲覧

## 3. 組織間の連携・協力の必要性

モデル事業を進めるにあたって、なぜ、連携・協力が必要なのかを明らかに

しておく必要がある。芳地ら（2010）は C.I.バーナード、P.F.ドラッガーの組織論から、組織は個人のレベルを超えた目標を達成するために形成されたものである。そこでは「組織は個人を押さえつけるものではなく、個人には制約があって一人ではできないことを、他の人々と一緒に成し遂げていくのが、協同システムとしての組織」と定義している。（芳地.2010.28）

しかし、その組織であっても個別の組織の能力を超えた社会問題（環境）の出現は、組織間の協力を必要とするのである。（山倉.1995）今回のモデル事業を推進するにあたっての社会問題（環境）とは、どのような問題があるのだろうか。

#### 4. 子どもの野球人口減少と社会問題（環境）

子どもの野球人口減少は、どのような社会問題（環境）と関係してくるのであろうか。試論ではあるが次のことが考えられる。

##### （1）少子・高齢化

前述したように現状では少子・高齢化には歯止めがかからない。野球やスポーツのみならず、日本の人口構成に影響し経済活動や社会保障の面においてもますます影響を及ぼすことが指摘されている。

##### （2）多様性・多様化

多様性は社会の変化や発展には不可欠な要素とされている。グローバリゼーションが叫ばれるなか、性・人種・民族・宗教等々、各々のアイデンティティを維持し相互に尊重することが現代社会に求められている。スポーツもまた、自己規律化を強調した近代スポーツから、社会変化に伴う生活課題に対応したスポーツへと再定義されてきている。

##### （3）個別性・価値観

個性を重視し個人が個人として尊重されると同時に、他も尊重することが必要になってきており、個性・価値観も多様化してきている。子どもの嗜好や親の資本（経済・文化・社会関係）<sup>1)</sup>に沿ったスポーツ、また塾・習い事等の選択肢が増えてきている。

##### （4）経済的負担

貧困問題は戦前から戦後の高度経済成長期の前期まで、典型的な日本の社会問題とされてきた。今日の貧困の特徴について宮本（2012）は、「相対的貧困」という社会で暮らす人たちにとって、あたり前とされている生活を営むことのできない状態にあるとする。特に子どもの貧困化は親の経済的格差や離婚の増加などの家族形態の変化がかかわっている。野球用具等への支出や親の手伝いなど、家計費や時間的負担はスポーツ選択の要素の一つになり得る。

以上の4点は子どもの野球人口減少の要因として、研究・検討していかなければならない課題である。しかし、本プロジェクトにおいては試案として触れるのみとして、今後の課題としておきたい。

## 5. プロジェクト概要

本プロジェクトを進めるにあたって、前述の4点の社会問題（環境）試案から次の2点を主な要因と考え課題設定をした。

(1) 価値観の多様化により子どものスポーツ選択肢が増えた。

(2) 外遊びの環境変化とスポーツ以外の選択肢も増えた。

これらの現状を踏まえ、野球・ソフトボールの底辺拡大を目指すことにした。

①ティーボールによる「野球未経験者（幼児、小学生）や親子へのアプローチ」

②ティーボールによる「区軟野連盟学童低学年（1年～4年生）の野球の学習機会」

以上2点を課題に事業展開をしていくことにした。プロジェクトの名称は「ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト」。プロジェクトの概要は次のとおりである。

### 「ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト」

#### (1) 事業コンセプト（3つのコンセプト）

##### ○子どもの外遊びの推進

ティーボールによる自発的・主体的に体を動かす遊びを中心とした身体活動を、生活課題として生活全体の中に確保する。

##### ○親子で楽しむスポーツの推進

ティーボールによる自発的な運動の楽しさを親子で体感し、文化としてのスポーツを享受する。

##### ○野球人口の拡大

ティーボールによる野球型ゲームの楽しさ・喜びの体験から野球へつなげる。

#### (2) ダイヤモンドキッズの名称

- ・子どもはダイヤモンドの原石である。磨き方しだいで大きく変わる。
- ・野球型ゲームのグラウンドで4つのベースを結ぶ内野の正方形内をダイヤモンドとも呼ぶ。また、野球型ゲームをダイヤモンド・ゲームとも呼ぶ。
- ・したがって、ダイヤモンドの原石のように磨けば輝く、野球型ゲームで遊ぶ子どもをダイヤモンドキッズと呼ぶ。

## 6. プロジェクト経過

### (1) 組織全体の課題にするための取り組み

子どもの野球人口減少を組織全体の問題として顕在化させ、野球・ソフトボール関係の組織間協働モデルを構築することが本プロジェクトの課題であり目的である。

これら問題意識・課題を区軟野連盟では、一部役員だけではなく軟式野球学童チーム関係者などにもこれらの問題を認識してもらい、共通の課題にする必要があった。特に会員数が多く、毎週のように大会を開催している区軟野連盟にとっては容易なことではない。加盟チームの理解を促進するために、本プロジェクトの概要や「なぜ、今、ティーボールなのか」等の説明を行った。

#### ① 少年・学童チームへのプロジェクトの説明

- ・世田谷区軟式野球連盟少年・学童部代表者会議
- ・平成29年（2017年）7月8日（土）午後7時 世田谷区民会館

### (2) プロジェクト事業コンセプトの具現化

一方、チーム関係者に理解を得るためには体験活動も重要である。『夢 子ども・親子ティーボールパーク』は、本プロジェクトの事業コンセプトを具現化した事業である。野球未経験者の子ども・親子は「遊び」としての野球型ゲームの楽しさを体感する。区軟野連盟チームの学童、チーム関係者には、ティーボールを題材に野球を学び、野球の楽しさを体感する。この2つの体感は人の「遊び」の欲求からくるものである。その「遊び」の楽しさから野球の楽しさへと繰返すうちに、野球が個人にとって社会にとってある種のなくてはならない活動になっていくのではないだろうか。このことを実体験する切っ掛けのプロジェクト事業が『夢 子ども・親子ティーボールパーク』（以下、『ティーボールパーク』）であった。『ティーボールパーク』結果については、次の7.プロジェクト事業Ⅰのとおりである。

## 7. プロジェクト事業Ⅰ

「ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト」事業コンセプト（3つのコンセプト）を達成するための事業である。

### 『夢 子ども・親子ティーボールパーク』要項

- 主催 日本ティーボール協会世田谷区連盟 世田谷区軟式野球連盟
- 共催 (特非) 東京ティーボール連盟 (公財) 東京都軟式野球連盟
- 後援 世田谷区 (公財) 世田谷区スポーツ振興財団

協賛  東邦ホールディングス株式会社 

(1) 主な事業内容

①子ども・親子ファン・ティーボール

野球未経験者及び親子のティーボールによる野球型ゲームの体験

②ティーボール交流戦

区軟式野球連盟少年・学童部による交流試合

③野球教室、他

プロ野球OBによる野球教室、紙芝居、紙飛行機飛ばし等々

(2) 開催日時・会場

日時：平成30年9月23日（祝）10：00～15：00

会場：世田谷区立世田谷公園軟式野球場

(3) 対象・人数・申込み

①野球未経験者（幼児～小学生）及び親子 ※含、障害者・児100名程度

申込み・〆切：区ティーボール連盟事務局 9月17日（月・祝）まで

②少年・学童部低学年 ※4年生以下 12チーム（最大）

『夢 子ども・親子ティーボールパーク』事業結果

(1) 参加者数 355名（含、保護者）

①子ども・親子ファン・ティーボール

・申込者数 231名 ・参加者数 205名

②ティーボール交流戦及び野球教室

・申込数 10チーム ・参加数10チーム（150名）

(2) 子ども・親子ファン・ティーボール

①運営方法

参加者を3グループに分け、どか点ゲーム⇄紙飛行機づくり・紙芝居屋・ティーバッティング・ストラックアウトをローテーションする。

○どか点ゲーム

・方法

2グループによる1イニングで攻撃は子どものみ、守備は子ども・親子で実施。

・結果

1グループの人数が多かったため攻撃では子どものみがバッティングを体験した。その際、守備者との接触を避けるため1塁と本塁の往復とした。また、オンライン上の中間地点にカラーコーンを設置し、カラーコーンに触れば1点とした。守備は子ども・親子で守備につくことで、保護者もベースボール型ゲームを体験した。変則的なゲームではあったが、野球未経験の子どもにとっては打つ・捕る・走る・守るの貴重な体験になった。

### ○紙芝居屋

「シルエットクイズ」「D・ジーター物語」「栄冠は君に輝く」の紙芝居  
「シルエットクイズ」正解者には景品

#### ・方法

区ティーボール連盟役員（保育士）が創作した紙芝居を読んだ。

#### ・結果

どの紙芝居も子どもたちは食い入るように見ていた。特に「シルエットクイズ」紙芝居は子どもの反響もよく、大きな声で解答していた。ティーボールや野球に直接関係するプログラムではなかったが、未就学児を含む、野球未経験者にはティーボールパークを楽しめるプログラムになった。

### ○紙飛行機づくり

自分の夢を紙飛行機に書き、最後に皆でいっせいに飛ばす。

#### ・方法

予め用意した紙に各々が自分の夢を書き、紙飛行機を作成し飛ばした。飛ばした紙飛行機はそれぞれが持ち帰った。

#### ・結果

当初、子どもたちに紙飛行機が作成できるか心配されたが、遊びとして紙飛行機づくりは好評であった。これもティーボールや野球に直接関係しないものであるが、紙飛行機を飛ばすことはボールを“投げる”に通じる遊びであるためか、のびのびと飛ばしていた。

### ○ティーバッティング・ストラックアウト

#### ・方法

ティーバッティングとストラックアウトのコーナーを設置し自由に体験できるようにした。

#### ・結果

野球未経験者の子どもにとっては、打つ・投げるのティーボールや野球に直結する体験コーナーであった。

今回、野球未経験者の子ども・親子でパークでの様々なプログラムを体験することで、少しでも野球の楽しさを味わえたのではないだろうか。また、広いグラウンドに出ることは、子どもの外遊び、親子の外遊びにもつながることである。ティーボールによる身体を使った遊びを体感し、野球の楽しさを身体に覚えこませる結果につながったのではないかと思われる。

### (3) ティーボール交流戦及び野球教室

#### ①少年野球各チーム1試合の交流戦と野球教室を実施

| ティーボール交流戦対戦表 |                                   |                                   |                                    | 野球教室   |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--|
|              | Bコート                              | Cコート                              | Eコート                               | 特別コート  |
| 第1試合         | 成城<br>ラッキーズ<br>対<br>ツイン<br>ファイターズ | 祖師谷<br>ビクトリー<br>対<br>松原<br>レインボーズ | 等々カ<br>グリーンズ<br>対<br>CCペガサス        | 成城ヤンガース<br>赤堤ファイターズ<br><br>リトルジャイアンツ<br>船橋フェニックス                       |
| 第2試合         | 成城<br>ヤンガース<br>対<br>赤堤<br>ファイターズ  |                                   | リトル<br>ジャイアンツ<br>対<br>船橋<br>フェニックス | 成城ラッキーズ<br>ツインファイターズ<br>祖師谷ビクトリー<br><br>松原レインボーズ<br>等々カグリーンズ<br>CCペガサス |

・方法

ティーボール・オフィシャルルールに準じ、各チーム1試合の交流戦を実施した。

・結果

ティーボールによる野球初心者（1年～4年）に対して、野球の学習機会を提供できた。投手がストライクを投げるのがまだ難しい年代には、打つことから始まることで直ぐゲームの実践ができること。ゲーム展開も早く短時間で試合を経験できること。全員が必ず1イニングの間に打席に立つことができること。これらのことは子どもたちが多くの試合を経験できる要素であり、ティーボールの特徴でもある。ティーボールで数多くの試合を経験することで野球を覚え、その楽しさを体感できたのではないだろうか。

○野球未経験者の子ども・親子へのチーム紹介

・方法

各チーム紹介ちらしを野球未経験幼児・小学生、親子に配布した。チームを紹介したい場合は、各チームでちらしを作成した。※ちらし作成は各チーム任意

②野球教室指導

黒江 透修氏 東京ティーボール連盟会長 元読売ジャイアンツV9  
得津 高宏氏 元千葉ロッテマリーンズ打撃コーチ

・方法

プロ野球OB黒江氏、得津氏によるバッティングを中心とした指導を行った。

・結果

両氏よりバッティングの基礎となる動きや練習方法などの指導があった。特に指導者には、指導者の経験だけではなく、子どもの特徴を捉えた理論的な部分を子どもにも分かりやすく解説することも交えた指導があった。



#### (4) 来賓出席者

東京都高等学校野球連盟理事長 武井 克時氏 副理事長 千葉 智久氏  
常務理事 柘植 義之氏 常務理事 本橋 良男氏

#### (5) 報道各社

朝日新聞社 東京中日スポーツ イッツコミュニケーション(株)

### 8. 他組織の動向

この間、日本高等学校野球連盟（以下、高野連）は、「高校野球200年構想」事業の一つに「子ども向けティーボール教室」の開催を各都道府県連盟主体事業として位置づけた。東京都高等学校野球連盟（以下、都高野連）では、高校野球シーズンオフ（平成30年12月～平成31年1月）の間に、全国の各高野連に先駆け「子ども向けティーボール教室」を都内34ヶ所で開催した。（資料編3） 同じくアマチュア野球（社会人野球）を統括する日本野球連盟（以下、野球連盟）では、連盟創立70周年記念事業の一環として、毎年10月7日を「ティーボールの日」と定め、社会人野球各チームが幼稚園・保育園でティーボール教室を開催した。（資料編4）

また、本プロジェクト事業『ティーボールパーク』には、都高野連武井理事長を始め役員の方々が視察に来場された。

### 9. 今後の課題と展望

山倉は企業経営における組織間関係論のなかで、組織としての企業は、自らをとりまく他組織との関係のなかで存続・成長し、同業他社等との多様な組織間ネットワークを形成しているという。（山倉,1995）一方で笠野ら（笠野ほか,2018）は全国スポーツ組織（スポ協、JOC、日レク等加盟スポーツ団体）にアンケート調査を実施した結果を次のように報告している。「他組織との連携・協働性」の調査項目について、「他組織と積極的に連携・協働するような事業・活動等は確認できず、他組織への関心、関係性の認識も薄い」（笠野ほか,2018p6）としている。このことから、山倉がいう企業組織とスポーツ組織では、その組織間関係の認識のあり方に違いがあり、スポーツ組織は他組織との連携・協働は取りづらいという特徴がみられる。そのスポーツ組織間関係のあり方も含め、今後、次のような課題が残されている。

#### 課題1. 組織間の共通目標の設定

野球・ソフトボールに関係する組織が問題を共有し、共通の課題設定をしていくための方法の検討が必要である。

#### 課題2. 組織間の情報共有の方法

問題解決のために情報を共有していくための方法の検討が必要である。

### 課題3. 継続的な事業展開

共通課題を明らかにし互いに無理なく事業を継続していくための方法の検討が必要である。

### 課題4. 財政的な根拠

事業等を推進するための財政基盤及び財政的な位置づけの検討が必要である。

これらの課題も含め「子どもの野球人口拡大」をテーマに、東京ティーボール連盟、東京都軟式野球連盟、東京都高校野球連盟は、3者連携・協力の合意書を締結する予定である。合意書は組織間の共有の目的を公式（フォーマル）に示すものである。この合意書締結は「子どもの野球人口拡大」を推進するにあたり、以下のねらいがある。

- (1) 自然発生的な結びつきではなく、意識的・意図的につくりあげていく計画的側面が必要である。
- (2) そのことで、幅広くそれぞれの組織形態の比較や連盟間の共生のルールを発見できる。
- (3) 連盟間のネットワーク認識への視角をもつことができる。

また、3者連携・協力が進むことでロビイングなど第三者への働きかけによる方法（政治的戦略）にもつながり、野球関係組織の連携・協力を社会に発信できる。そして、次の4つの効果も期待できる。

「相互補完効果」「学習効果」「活性化効果」「正当性効果」（山倉, 1993）

組織間の連携・協力を進めていくには様々な障壁が伴う。特に野球は歴史的にみても、ボールの違いも含めプロ・アマ野球、社会人・大学・高校野球、少年・学童野球といった組織を一本化・統括することが難しく、その仕組みは未だない。本モデル事業には、このような状況下にある当該組織同士が、組織間の連携・協働を模索しながら問題・課題を共有し、トップダウンのみならずボトムアップ的な体系を構築する方法を試行することにあつた。そこでは組織をつなぐ連結者（コーディネーター：連結ピン）、互いのコミュニケーションを図る仕掛けづくり（場）が必要であることが明確になった。

社会が激しく変化していくなか、野球・ソフトボール、スポーツを愛する仲間が、新しい時代の新しい仕組みを構築していくために、互いの組織の枠を越えて協力していくことが益々重要になってくるであろう。

最後に、本モデル事業を進めるにあたっては、多くの方々にご協力・ご尽力いただいたことを感謝申し上げます。

以上

[注]

1) フランスの社会学者P・ブルデューが『再生産』のなかで用いた概念。経済資本・文化資本・社会関係資本を並置させて論じた。

[参考文献]

笠野英弘ほか（2018）「新しい公共」形成からみた国内スポーツ組織の現状と課題. 体育・スポーツ経営学研究誌最新刊早期公開第32巻（2018.8.28）

<https://jsmpes.jp/content/files/article/h30/Research%20Materials%20-%20Kasano.pdf>

2018/10/15 閲覧

芳地泰幸ほか（2010）「大学生アスリートを対象としたチームビルディングに関する事例研究」. 『順天堂スポーツ健康科学研究』第2巻第1号（通巻55号）28—34

宮本みち子（2012）『若者が無縁化する一仕事・福祉・コミュニティでつなぐ』ちくま新書

山倉健嗣（1993）『組織間関係—企業間ネットワークの変革にむけて』有斐閣

山倉健嗣（1995）組織間関係と組織間関係論. 『横浜経営研究』第XVI巻第2号

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html> 2018/10/9 閲覧

2019年3月31日

【文責】

（特非）東京テニール連盟  
常務理事 藤川 恭英

## プロジェクト名簿、検討経過

## 名簿

※順不同

| 氏 名    | 所 属  |
|--------|--|
| 佐藤 文宏  | 東京ティーボール連盟理事長<br>世田谷区ティーボール連盟顧問            |
| 小野 幸雄  | 東京ティーボール連盟常務理事<br>世田谷区ティーボール連盟会長(～2018年4月) |
| 石井 譲二  | 世田谷区ティーボール連盟理事                             |
| 石塚 恵子  | 世田谷区ティーボール連盟理事                             |
| 日下部 俊光 | 世田谷区ティーボール連盟理事                             |
| 佐久間 明子 | 世田谷区ティーボール連盟理事                             |
| 宮川 浩巳  | 東京ティーボール連盟常務理事<br>世田谷区ティーボール連盟理事           |
| 藤川 恭英  | 東京ティーボール連盟常務理事<br>世田谷区ティーボール連盟会長(2018年5月～) |
| 宇田川 武男 | 東京都軟式野球連盟理事<br>世田谷区軟式野球連盟理事長               |
| 藤崎 一彦  | 世田谷区軟式野球連盟副理事長                             |
| 小穴 英明  | 世田谷区軟式野球連盟理事                               |
| 佐藤 貞治  | 世田谷区軟式野球連盟理事                               |

## 検討経過

| 日 時         | 場 所        | 検討項目                      |
|-------------|------------|---------------------------|
| 2017年 3月 9日 | 都軟式野球連盟事務局 | 都両連盟意見交換                  |
| 2017年 5月 9日 | 砧支所区民集会所   | TTA 初級公認指導者認定講習会等         |
| 2017年 9月 8日 | 〃          | 両連盟の現状、課題等                |
| 2017年10月10日 | 〃          | 共同事業の提案等                  |
| 2018年 2月22日 | 〃          | 事業コンセプトの確認等               |
| 2018年 3月16日 | 〃          | ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト等   |
| 2018年 5月15日 | 〃          | プロジェクト事業等                 |
| 2018年 6月21日 | 〃          | 夢子ども・親子ティーボールパーク等         |
| 2018年 7月20日 | 〃          | 夢子ども・親子ティーボールパーク実施案等      |
| 2018年 8月23日 | 〃          | 夢子ども・親子ティーボールパーク実施案等      |
| 2018年 9月20日 | 〃          | 夢子ども・親子ティーボールパーク最終確認      |
| 2019年 2月26日 | 〃          | ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクトまとめ |

## 資料編

1. プロジェクト会議メモ

2. 『夢 子ども・親子ティーボールパーク』写真集

※「夢 子ども・親子ティーボールパーク」ちらし 東京中日スポーツ 朝日新聞

3. 東京都高校野球連盟「ティーボール教室」

※朝日新聞

【参考資料】 朝日新聞オピニオン「私の視点」

4. 日本野球連盟「ティーボール教室」

※毎日新聞



## 1. プロジェクト会議メモ

メモ：藤川 2017/3/10

日時 2017年3月9日（木）10:00～12:00

場所 東京都軟式野球連盟事務局

出席者 都軟式野球連盟 梅田会長、牧野専務理事、堀田常務理事

都ティーボール連盟 岩浪副会長、佐藤理事長、高橋副理事長、藤川

### 1. 打合せ

#### ①ティーボール連盟の歴史と現状についての説明（佐藤理事長）

※資料：ティーボール入門等

#### ②組織間連携の提案について説明（藤川）

※資料：ベースボール型ゲームにおける組織間連携の提案

#### ③意見交換

### 2. 打合せについて3つの枠で整理する。

#### ①理念のレベル

- ・軟式野球連盟、ティーボール連盟の目的を共有し連携・協力することを確認した。
- ・ティーボールが野球の発展に不可欠であることを再確認した。
- ・ティーボールが低年齢層の野球入門として導入しやすいことを確認した。
- ・女性（含、女子）、障害者、高齢者もティーボールで、ベースボール型ゲームが楽しむことができるため、国の第2期スポーツ計画の施策とも関連付け進められることを確認した。
- ・子どもの野球離れについては両連盟とも危機感を持っている。  
理念レベルにおいては、両連盟とも異議はなかった。

#### ②実務のレベル

- ・都軟野連からティーボール連盟主催・主管大会、市区連盟大会を各支部（学童チーム）に情報提供し、参加を働きかける。
- ・都軟野連からTTA初級公認指導者講習会（含、みんなのスポーツ塾）を各支部指導者に情報提供し、参加を働きかける。
- ・都軟野連主催大会・指導者講習会、都ティーボール連盟主催大会・講習会等の日程（年間予定）を共有する。（確認：藤川）
- ・要検討事項：都軟野連指導者講習会でのティーボール実施  
実務レベルにおいては、ティーボール連盟大会・講習会の日程、大会運営に支障のない参加学童チーム数等の検討など詳細を詰める必要がある。

#### ③指導者意識のレベル

- ・都軟野連加盟の学童チーム指導者がTTAの必要性を理解してもらえるのか。
- ・指導者の意識レベルは実務的に進めていくことで徐々に理解を得られるであろう。  
出来ることから始めてみましょう。という結論。

メモ：藤川 2017/5/10

日 時：2017年5月9日（火）18:30～20:00

場 所：砧総合支所区民集会所第3会議室

出席者：軟式野球連盟 牧野 宇田川 藤崎 佐藤貞

ティーボール連盟 岩浪 佐藤 高橋 小野 藤川

## 議 題

NPO 法人東京ティーボール連盟、(公財) 東京都軟式野球連盟組織間協力事業

1. TTA 初級公認指導者認定講習会開催について ※別紙資料あり（資料1）
  - ・都両連盟の組織間協力モデルとして世田谷区両連盟で協力実施することで了解。
  - ・区軟式野球連盟登録学童チームの指導者を対象にする。
  - ・開催日時について、日曜日・祝日は学童チームの試合が組まれているので、指導者は土曜日が参加しやすい。
  - ・開催日時を検討し会場については、ティーボール連盟で確保する。(7月22日予定)
  - ・学童チームの代表者会議を7月8日（土）19:00 世田谷区民会館で開催するので、その際、ティーボール、TTA についてティーボール連盟より説明する。(含、DVD)
  - ・後日、詳細をつめて区ティーボール連盟（藤川）より、区軟式野球連盟（宇田川）に連絡する。
2. (仮称) 国際交流ティーボール大会について ※別紙資料あり（資料2）
  - ・同じく都両連盟組織間協力モデル事業として開催を検討したい。
  - ・開催目的については共有し了解した。
  - ・目的はティーボールによる国際交流であるため、幅広い年代層の参加を呼びかけたい。
  - ・区内在住・在学・在勤外国人及びアメリカ大使館へのアプローチは、それぞれの人脈等を含め検討する。
  - ・実施時期・内容等を具体化し、民間レベル（競技団体）の国際交流を支援してもらえよう行政へ働きかける。
  - ・資料2にある課題を再度整理し検討する。
3. その他
  - 大会等、事業案内
  - ・第3回ティーボール教室 in 東京ドーム（主催：(公財) 日本野球連盟 共催：NPO 法人日本ティーボール協会）
  - ・29年度 NPO 法人東京ティーボール連盟主要事業



2017/9/11

メモ藤川

日 時：2017年9月8日（金）18：30～20：15

会 場：砧総合支所区民集会所会議室

出席者：区軟式野球連盟 宇田川理事長、藤崎副理事長、小穴理事、佐藤(貞)理事  
区ティーボール連盟 小野会長、佐藤(文)顧問、宮川理事、石井理事、  
藤川理事

### 議題

#### 1. ティーボール組織化の経緯

- ・藤川よりティーボール組織化の経緯とそれを踏まえた軟式野球連盟との協働に向けての提案を行った。※別紙資料のとおり

#### 2. 区軟式野球連盟少年・学童部の現状

- ・区軟野連宇田川理事長より少年・学童部登録の現状から、少年・学童の野球への興味・関心等の話があった。世田谷区の特徴として、中学受験が多いため6年生は年度当初の大会が終わると退会する子どもが多い。近隣の幼稚園・保育園では園庭でサッカーをやっている幼稚園・保育園が多い。
- ・小穴理事、佐藤理事より学童部指導者として、子どもを野球チームへ勧誘する難しさの話があった。各チームの指導者のなかでも温度差があり、少年・学童の野球人口減の危機感がない指導者もいる。
- ・野球のスターターゲームとしてティーボールは欠かせないので、連盟内でもティーボールの理解を進める必要がある。

#### 3. 協議

- ・現状を踏まえて協議した結果、以下の事項を区軟式野球連盟で検討する。
- ①区軟野連少年・学童部の指導者、関係者のティーボール理解のためのティーボール体験会の実施について。
- ②3年生大会開催時に1・2年生（含、幼児）のティーボール大会の実施について。
- ・野球未経験者等へのアプローチについては次回の合同会議で提案し検討する。

以上

2017/9/1011

メモ藤川

日 時：2017年10月10日（金）18：30～20：30

会 場：砧総合支所区民集会所会議室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎副理事長、小穴理事、佐藤(貞)理事

区ティーボール連盟 小野会長、佐藤(文)顧問、宮川理事、石井理事、  
日下部理事 藤川理事

## 議題

### 1. 協定書（案）について

個人的な見解として議論した。

- ・今後、両連盟で事業を進めていくうえでは協定書のような文書で残るものが必要ではないか。
- ・文書という形があると連盟のなかでもオーソライズしやすい。
- ・今すぐではなく、時期をみてという考え方もあるのではないか。
- ・両連盟が協定書に基づいて協働していると行政、区スポーツ振興財団（区体協、区レク協を兼ねる）等、公的機関への働きかけがしやすい。

佐藤(文)顧問（東京ティーボール連盟理事長）より、東京ティーボール連盟と都軟式野球連盟が、連携・協力するにあたって、協定書を含めひとつのモデルをつくってもらえるとありがたい。そのうえで、都の両連盟も協定書を結ぶなどボトムアップでいきたい。という話があった。

協定書については全員が必要との認識がある。各連盟役員会で連盟組織としての確認をとる。協定書内容等は今後の検討事項とする。

### 2. 共同事業の提案

共同事業としてイベント的活動と日常的活動を提案

両連盟の目的でもある野球・ソフトボールの底辺拡大を図るため、幼児から小学低学年のベースボール型ゲームの体験。保護者への働きかけ。2点を重点課題とする。

#### ・イベント的活動

野球初心者等の幼児から小学低学年と親を対象に、ティーボールを活用し、投げる、打つ、捕る、走るの運動体験を提案。2月の世田谷オープンティーボール大会と併せて実施する案を検討する。

#### ・日常的活動

区内の幼稚園・保育園で運動遊びとして取り入れてもらいたい。指導者派遣等の課題がある。区立保育園については藤川が保育課長に申し入れる。この件は課題が多いので解決策等、引き続き検討する必要がある。

以上

2018/2/23

メモ藤川

日 時：2018年2月22日（木）18:30～20:00

会 場：砧総合支所区民集会所会議室

出席者：区軟式野球連盟 宇田川理事長、藤崎副理事長、小穴理事

区ティーボール連盟 小野会長、石井理事、日下部理事、石塚理事 藤川理事

#### 議題

#### 1. 区ティーボール連盟重点戦略について

ティーボール連盟から（資料1）

これまで協議した内容を検討し2つを重点戦略とした。

（1）ティーボールによる野球未経験者層への興味・関心の喚起

（2）ティーボールによる野球入門者層への野球型ゲーム学習の機会

これらを組み合わせながら具体的に事業化し進めていきたい。

軟式野球連盟から

昨年、TNBB（東京都軟式野球連盟）主催、日清製粉協賛の野球未経験・初心者の事業を実施した（区総合運動場野球場）。元プロ野球選手宮本氏、里崎氏、西崎氏を講師に野球の基本と最後にティーボールで試合を行った。大変好評であった。区軟野連盟でも未就学児も含めて未経験者や初心者にも働きかけたい。また先日の都理事会で子どもの野球離れの話が出た。世田谷区ではティーボール連盟と連携・協力し進めていることを紹介した。

#### 2. 今後の連携について

- ・ティーボールによる野球未経験者層等イベント実施後、区軟式野球連盟のチームを紹介できるような仕組みがあると野球需要開拓につながるのではないかと。
- ・年間の区軟野連盟大会スケジュールは日曜日など目一杯である。地域リーグなどで上記のような未経験者層等イベントも合わせて実施することは可能かもしれない。
- ・区軟式野球連盟HPとティーボール連盟HPをリンクし、広く情報共有・発信ができればいい。
- ・スポレクふれあい大会は各チームに働きかけたい。大会要綱等の配布だけでなく、監督者会議（4月7日）でティーボール連盟から紹介してもらおう効果的である。

区ティーボール連盟重点戦略及び上記の課題を含め方向性は互いに合意できたので、方法を具体化し進めていくことを確認した。

次回、3月（14,15,16日いずれか）に合同会議を開催する。藤川が会場を確保し連絡する。

以上

2018/3/18

メモ藤川

日 時：2018年3月16日（金）18:30～20:00

会 場：砧総合支所区民集会所会議室

出席者：区軟式野球連盟 宇田川理事長、小穴理事、佐藤（貞）理事

区ティーボール連盟 佐藤（文）顧問、小野会長、石井理事、日下部理事、藤川理事

### 1. 報告事項

#### (1) 都民スポレクふれあい大会について

別紙、開催要項のとおり6月3日（日）駒沢オリンピック公園総合運動場で開催する。

軟式野球連盟では学童部低学年の試合はその日には組まない方向で進める。

4月7日（土）に軟式野球連盟学童部の代表者会議があるので、その場でティーボールの紹介を兼ねて案内する。※4月7日（土）19時世田谷区民会館集会室

#### (2) ホームページリンクについて

区軟式野球連盟HPと都ティーボール連盟HPにお互いリンクできるようにすることで進めていく。区ティーボール連盟事業等も都連盟HPに情報提供する。今後はHP担当者同士で打ち合わせを行う。

### 2. 協議事項

#### (1) 地域リーグでのティーボールについて

別紙、事業案に沿って検討した。

位置づけについては、区軟式野球連盟、区ティーボール連盟主催で実施するのが良い。

地域リーグの試合とは別にし、ティーボールを中心に実施するのが良い。

他は概ね事業案どおりで良いので具体的な計画を立てていくことで互いに了解した。

あすなろリーグ、玉川親睦リーグに声かけを行い9月中・下旬に開催する。

会場確保、実施要項案はティーボール連盟で作成する。

### 3. その他

#### (1) ダイヤモンド・チャレンジ・プロジェクトについて

別紙企画書のとおり、幼児を対象にした野球型ゲームを保育園で実施してもらうため、ティーボール用具を保育園に寄付する。そのための協賛企業を募る。外遊びをコンセプトに保育園での運動遊びに野球型ゲームを導入したい。

次回、5月15日（火）18時30分～ 砧総合支所区民集会所第3会議室

以上

2018/5/16 メモ藤川

日時：2018年5月15日（火）18:30～20:00

会場：砧総合支所区民集会所会議室

出席者：区軟式野球連盟 宇田川理事長、藤崎理事、佐藤（貞）理事

区ティーボール連盟 小野会長、石井理事、日下部理事、宮川理事、石塚理事、藤川理事

### 1. 協議事項

#### (1) ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト（案）について

- ・藤川よりダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクト（案）について説明
- ・区軟式野球連盟、区ティーボール連盟プロジェクトとして進める。
- ・事業コンセプト○子どもの外遊びの推進○親子で楽しむスポーツの推進○野球人口の拡大を確認した。
- ・具体的な実践内容は、①保育園（幼児）でのティーボール遊び②野球型ゲーム初心者のティーボール遊びを推進していく。
- ・そのためのプロジェクト協賛金を募っていく。

#### (2) ファン・ツウ・ティーボールイベント「夢子ども・親子ティーボールパーク」について

- ・プロジェクト実現のひとつである野球型ゲーム初心者のティーボール遊びを開催する。
- ・日時・会場は9月23日（祝）世田谷公園野球場
- ・内容は①地域リーグチームによるティーボールゲーム②野球未経験者親子のティーボールによる野球型ゲームの体験。
- ・①はあすなろリーグを中心にチームを集める。参加チームが少ない場合は他地域リーグに参加を呼びかける。運営上12チームが良い。
- ・審判は球審をティーボール連盟、塁審を参加チームから出してもらう。
- ・②は世田谷公園野球場近隣保育園、小学校に児童数ちらしを配布し募集する。
- ・地域リーグ参加チームの学校へもちらし配布する。
- ・プロジェクト協賛金をイベント予算としたいが未確定である。
- ・両都連盟のモデル事業でもあるので両都連盟に予算化をお願いする。
- ・大会ではないのでイベントとしてチーム参加費は無料が良い。親子参加は傷害保険代は徴収しても良いのではないか。
- ・安全・安心、リスク管理も考え看護師も必要である。
- ・親子参加者への学童チーム紹介ちらし等は各チームをお願いする。

#### (3) その他

- ・都ティーボール連盟HPに世田谷区の活動紹介を載せ、区軟式野球連盟HPとリンクさせる作業を行っている。

次回、6月21日（木）18時30分～ 砧総合支所4階区民集会所料理講習室

以上

2018/6/22

メモ藤川

日 時：2018年6月21日（木）18：30～20：00

会 場：砧総合支所区民集会所料理講習室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎理事、佐藤（貞）理事、小穴理事

区ティーボール連盟 佐藤（文）顧問、小野理事、日下部理事、藤川理事

## 1. 報告事項

5月31日（木）に佐藤（文）理事長、藤川が東京都高校野球連盟事務局で武井理事長に面会。高校野球200年構想の野球未経験者のティーボール教室等について、東京都高校野球連盟と連携・協力を図りたい旨を申し出た。

## 2. 協議事項

「夢 子ども・親子ティーボールパーク」（9月23日開催）について

### （1）本事業の予算について

予算については両連盟で折半する。ティーボール連盟は都連盟の（仮）モデル事業補助金をあてる。予算案は再度、藤川が作成する。

### （2）役割・責任者等について

- ①実施要項・ちらしはティーボール連盟で作成する。
- ②未経験者・親子（一般参加者）の申込みはティーボール連携、地域リーグについては軟式野球連盟で取りまとめる。
- ③パブリシティについて、朝日新聞社（藤川）、Jcom（宇田川予定）、イツコム（日下部）に取材を依頼する。
- ④協賛企業を小野、藤川であたるが、他にあれば願います。
- ⑤競技はティーボール連盟の各責任者を中心に運営・進行する。
- ⑥プロ野球OBの講習会も実施したい。実施にあたっては試合等の進行を含め方法を検討する。
- ⑦事業コンセプト（子どもの外遊び・親子でスポーツ・野球人口拡大）に沿った会場雰囲気、実施内容を検討する。
- ⑧荒天中止の場合、区軟式野球連盟HP（ツイッター）で一般参加者に知らせることも可能。次回の会議までに上記内容を具体化した実施要項を作成し協議する。

次回、7月20日（金）18時30分～ 砧総合支所4階区民集会所第2会議室

以上

2018/7/23

メモ藤川

日時：2018年7月20日（金）18:30～20:10

会場：砧総合支所区民集会所第2会議室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎理事、小穴理事

区ティーボール連盟 佐藤（文）顧問、小野理事、日下部理事、佐久間理事、  
藤川理事

## 1. 報告事項

（公財）日本野球連盟事務局面会について

7月9日（月）東京ティーボール連盟佐藤理事長、藤川常務理事の2名で日本野球連盟崎坂特別専門職参事に面会した。都軟式野球連盟・ティーボール連盟のモデル事業として進めている、ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクトと JABA ベースボールフェスティバル全国一斉ティーボール教室と連携・協力していくことを確認した。

## 2. 協議事項

「夢 子ども・親子ティーボールパーク」実施要項案について協議した。

・区軟式野球連盟の当日人員についての確認。子ども・親子ファン・ティーボールに6名の人員が必要である。大学生ボランティア等の手伝いも考えられる。ティーボール交流試合は副責任者（区軟野連）以外に3名必要になる。主審以外はチーム帯同の監督・コーチにお願いしたい。ティーボールルールを各チームに配布する。

・一般募集については、区ティーボール連盟がちらし配布、申込み等を行う（100名程度の予定）。学童チーム交流試合は区軟野連（佐藤（貞））があすなろリーグ中心に要項配布・申込みを行う（最大12チーム）。

・一般募集ちらしのツイッターアドレスについて、後日、小穴理事より藤川に連絡。公共交通機関の利用を追記する。

・物品については区ティーボール連盟で確認する。

・予算については予算案のとおり。協賛金については努力していく。

次回 8月23日（木）18時30分 砧総合支所区民集会所第2会議室

※最終打合せ 9月20日（木）18時30分砧総合支所区民集会所第1会議室

以上

2018/8/24

メモ藤川

日時：2018年8月23日（金）18:30～20:00

会場：砧総合支所区民集会所第2会議室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎理事、小穴理事 佐藤理事  
区ティーボール連盟 佐藤（文）顧問、小野理事、日下部理事、宮川理事、藤川理事

## 1. 協議事項

- 「夢 子ども・親子ティーボールパーク」実施要項案について協議した。
- 開会式については「プレイヤーズ・ファースト」として簡潔に行う。  
来賓、役員等の挨拶は無しにして紹介にとどめる。  
子どもたちのモチベーションを上げるためのプログラムを実施する。
- 交流戦プログラムについて  
各チーム2試合を予定していたが、時間的余裕をもってティーボールを楽しむことが出来るようにするため、各チーム1試合と野球教室というプログラムを進める。
- 交流戦実施前に宮川氏（ティーボール連盟）が選手、指導者にティーボール規則の概略を説明する。宮川氏より、規則に不慣れな点や打つことを楽しんでもらい今後につなげるため、審判は選手に指導しながら進めることを確認。
- スタッフについては、東京ティーボール連盟他市区連盟に手伝いをお願いする。  
区軟式野球連盟の当日スタッフは再度確認する。区スポーツ推進委員より3名協力いただける。
- 交流戦要項の修正版、ティーボール規則は後日メールで送る。
- 日下部氏よりファン・ティーボールプログラムの説明があった。子ども・親子でティーボールを中心に楽しんでもらうプログラムにする。
- 小野氏のご尽力により協賛企業が決まった。東邦ホールディングス株式会社（協賛金5万円）

## 2. その他

- 東京みんなのスポーツ塾（主催：東京都 都レクリエーション協会）でティーボール講習会を実施するので、区軟式野球連盟学童チーム指導者に声かけをお願いしたい。
- 藤川より日本野球連盟全国一斉ティーボール教室東京都各チームの取組み状況の報告があった。

次回 9月20日（木）18時30分 砧総合支所区民集会所第1会議室

※「夢 子ども・親子ティーボールパーク」最終打合せ

以上



2018/9/21

メモ藤川

日 時：2018年9月20日（木）18：30～20：00

会 場：砧総合支所区民集会所第1会議室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎理事、小穴理事 佐藤理事

区ティーボール連盟 佐藤（文）顧問、小野理事、日下部理事、宮川理事、  
加藤理事、佐久間理事、高久理事、藤川理事

## 1. 協議事項

「夢 子ども・親子ティーボールパーク」運営マニュアルについて確認した。

- ・ファン・ティーボール参加者 231名 @幼児57名 小学生72名 大人102名
- ・交流戦参加チーム 10チーム（125名）
- ・スケジュールの確認、各役割の確認を行い手薄なコーナーに人員配置を行った。
- ・ファン・ティーボールの運営について日下部理事より説明があった。200名を越える参加者を考慮し、運営手順、方法等を再度検討した。  
参加者が安全に楽しく野球型ゲームの体験が出来るように運営スタッフ全員で気を配りカバーすることを徹底する。
- ・当日、ケーブルTVイツコム、朝日新聞、東京中日スポーツが取材に来る。
- ・ダイヤモンドキッズ・チャレンジ・プロジェクトの目標を達成していくため、方法を検討しながら継続していくことが必要であるとの意見が出た。方法等を含め今後の課題としていく。

## 2. その他

- ・日本野球連盟主催の全国一斉ティーボール教室を東京ガス野球部が品川区の幼稚園で10月に実施予定。ティーボール連盟藤川が幼稚園との打合せに立ち会った。  
実施幼稚園 文教大付属幼稚園 帝京にしき幼稚園

以上

12月4日

2019/2/27

12月4日

メモ藤川

日 時：2019年2月26日（火）18:30～20:00

会 場：砧総合支所区民集会所料理講習室

出席者：区軟式野球連盟 藤崎理事、小穴理事 佐藤理事

区ティーボール連盟 小野理事、日下部理事、石井理事、藤川理事

## 1. 協議事項

### (1) 都軟式野球連盟・東京ティーボール連盟協働モデル事業まとめについて

#### ① 中間報告書課題について

- ・ティーボール連盟藤川より課題解決に向けての提案があった。提案事項も含めモデル事業の結果として両都連盟に報告することで了解した。
- ・軟野連盟組織内部でも、まだ子どもの野球人口減少に対する危機感やティーボール導入への理解が薄いので、内部に向けての理解促進も必要との意見があった。
- ・都高野連の取り組みも視野に置き、都高野連とも連携・協力を図れるよう両都連盟に申し入れることを確認した。
- ・今後、結果報告書を元に、両都連盟で連携・協力関係構築について更に検討してもらおうことで了解した。報告書については藤川が責任を持って作成する。

#### (2) 今後の取り組みについて

- ・モデル事業終了後も区両連盟で継続した事業展開も必要であることを確認した。
- ・地域リーグ毎に単位は小さくても『夢 子ども・親子ティーボールパーク』のような事業を展開していくのがよい。
- ・区軟式野球連盟少年・学童の部総合開会式の後に、ティーボールのデモンストレーションを実施しても良いのではないかと。今後、継続した連携・協力事業として検討していくことを確認した。

## 2. その他

- ・3月3日（日）に開催される区軟式野球連盟少年・学童の部総合開会式に区ティーボール連盟出席依頼があった。  
区ティーボール連盟からは藤川が出席する。

以上



左から  
東京ティーボール連盟黒江会長  
世田谷区軟式野球連盟宇田川理事長  
東京都高等学校野球連盟武井理事長



プロ野球OBによる野球教室



幼児のティーバッティング



ストラック・アウト







Fun to Teeball

# 『夢 子ども・親子 ティーボールパーク』

## 家族でもいあがろう..!

### 打って! 捕って! 投げて! 走って!

誰でもすぐに  
試合ができます



2018年

9月23日 (祝) 10:00~12:30

(受付9:30~) 【荒天中止】

場 所: 世田谷公園軟式野球場

対 象: 幼児・小学生と大人(家族申込可)

参加費: 1人100円(傷害保険料)※当日徴収  
※裏面の申込書でお申込みください

当日の開催の有無は下記ツイッターに掲載(午前7:30)します。  
個別に荒天中止等の連絡はしませんので必ずご確認ください。  
世田谷区軟式野球連盟少年・学童部

・パソコン [https://twitter.com/sbbl\\_gakudo](https://twitter.com/sbbl_gakudo)

・携帯電話 [https://mobile.twitter.com/sbbl\\_gakudo](https://mobile.twitter.com/sbbl_gakudo)

ティーボールは、野球やソフトボールに似た、  
子どもから大人まで楽しめるスポーツです。  
野球やソフトボールがはじめてでも、打つ、捕る、投げる  
の基本から、試合まで楽しめます。  
ご家族や1人でも参加できます。

主催 日本ティーボール協会世田谷区連盟 世田谷区軟式野球連盟  
共催 NPO法人東京ティーボール連盟 公益財団法人東京都軟式野球連盟  
後援 世田谷区 公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団

協賛  東邦ホールディングス株式会社 



小学校の  
体育の授業でも  
やってるよ!



運動のできる服、  
運動ぐつで参加  
してね!

**申込み**

〆切:9月17日(月・祝)

当日、プロ野球OBによる  
野球教室開催(予定)

**FAX 03-3482-3090** 日本ティーボール協会世田谷区連盟事務局  
下記の申込書に必要事項を記入し送信してください。

**問合せ先**

日本ティーボール協会世田谷区連盟 石井 080-3021-8664

※荒天等での開催の有無は、世田谷区軟式野球連盟ツイッター(少年・学童部)でご確認ください。当日午前7:30

**〇運営ボランティアを募集しています。**  
18歳以上でスポーツに興味・関心のある方、いっしょにティーボールを運営しませんか。  
上記、問合せ先までご連絡ください。

**夢 子ども・親子ティーボールパーク申込書**

|                            |                     |     |                                  |                     |     |
|----------------------------|---------------------|-----|----------------------------------|---------------------|-----|
| (ふりがな)<br>代表保護者の方のお名前      |                     | 性別  | 住所 〒(    -    )                  |                     |     |
|                            |                     | 男女  | 電話番号<br>—                      — |                     |     |
| (ふりがな)<br>参加者のお名前    ※該当に〇 |                     | 性別  | (ふりがな)<br>参加者のお名前    ※該当に〇       |                     | 性別  |
|                            | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |                                  | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |
|                            | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |                                  | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |
|                            | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |                                  | 幼 児<br>小 学 生<br>大 人 | 男 女 |

※保護者(責任者)が同伴しない幼児だけの参加はできません。  
※ご記入いただいた個人情報は、責任をもって管理し、本イベント以外の目的では使用いたしません。  
※公園有料駐車場は混雑が予想されるため、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。  
※報道関係者の取材、主催連盟HP掲載のための写真撮影を行いますので予めご承知おき下さい。



学童・中学生軟式野球



学童 & 中学軟式

新人戦支部大会

台東支部

台東区少年軟式野球連盟主催の新人戦、教育リーグ戦(東京新聞・東京中日スポーツ後援)の学童・少年の部の決勝戦が8月25日、台東リバーサイドスポーツセンター野球場ほかで行われた。

学童の部は、ライオンズがサンジュニアを下し優勝した。ライオンズの細川和雅将は「ピッチャーがよく、攻撃もヒットがたくさん打てたので勝った。今後はチーム一丸とな



△学童の部  
ライオンズ9-1サンジュニア  
△少年の部  
サンジュニア6-0ポルメツ

り守りきる野球をしています」と笑顔で話した。少年の部では、サンジュニアがポルメツを



△学童の部で優勝したライオンズ  
△少年の部で優勝したサンジュニア

完封し優勝を果たした。サンジュニアの能登屋英介主将は「積極的に打ちに行った事で、チームの流れがよくなり優勝できた。都大会では声をかけをしっかり行い、守備を安定させていきます」と力強く語った。(菅原直樹)

本宿が第1代表

府中支部

第36回東京新聞杯争奪新人戦府中支部大会(同市学童野球連盟主



優勝・本宿リトルエース

催、東京中日スポーツ・東京新聞後援)は1日、郷土の森第二野球場で決勝が行われ、本宿リトルエースが八小少年軍を破り優勝した。本宿と八小



準優勝・八小少年軍

は23日から始まる都大会に出場する。優勝した本宿・福嶋銀太主将は「いつもより声が出てチームのムードがよかった。都大会でも優勝を狙う」と笑顔で語り、準優勝の八小・春山恵之主将は「守備のミス

△準々決勝

|          |      |     |
|----------|------|-----|
| 本宿リトルエース | 14-3 | 豊平中 |
| 本宿リトルエース | 7-6  | 四谷中 |
| 八小少年軍    | 10-9 | 小滝中 |
| 本宿リトルエース | 2-1  | 豊平中 |

△準決勝

|          |      |    |
|----------|------|----|
| 本宿リトルエース | 22-2 | 本宿 |
| 八小少年軍    | 14-0 | 本宿 |

△決勝

|       |      |    |
|-------|------|----|
| 八小少年軍 | 10-0 | 本宿 |
|-------|------|----|

本宿リトルエース  
10  
20  
30  
81

せたボールを打ち、野球同様に守備・攻撃を行う、ティーパーを体験する。必要な用具は当日、貸し出しを受けられるため、運動できる服装であれば、用具類の準備は不要。参加費はひとり100円(傷害保険料)。ひとりから、家族そろっての申し込みも受け付けている。ただし当日、保護者を伴わない、幼児だけの参加は不可。申し込み・問い合わせは日本ティーパー協会世田谷区連盟・石井さん=03-080-3021-8664=まで。締め切りは17日。

野球未経験者対象に参加者募集

ティーパー体験イベント 世田谷で23日  
打って、捕って、投げて、走って。野球未経験の幼児と小学生、その親を対象に体験イベント「夢子ども・親子ティーパーパーク」を23日、東京都世田谷区の世田谷公園軟式野球場で開催。幼児や親子など、参加者を募集している。このイベントでは野球人口の底辺拡大、親子でのスポーツ体験を目的に、東京ティーパー連盟と東京都軟式野球連盟が協力して開催。ティーパースタントに乗

が多く出てしまった。これから修正して都大会に臨みます」と前向きに話した。(菅原直樹)



リーグ戦開幕

第61回三多摩理容野球大会(三多摩理容協会主催、東京新聞など後援)は8月27日、八王子市営滝方原球場で開幕。大会は5チームが出場、2日間の日程で総当たり

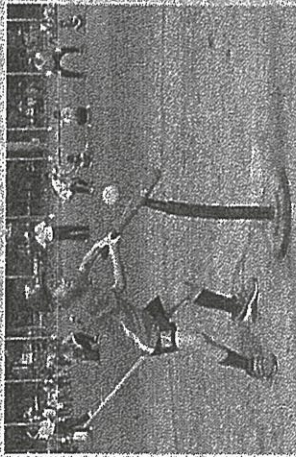
みんなのHP  
公式はこちら

のリーグ戦を行い、順位を競う。開会式では協会の藤井孝行会長が「明日への活力となるよう頑張ってください」と選手らを激励。多摩立川ヒートバースポーツマンシニアのつとみ、正々堂々と戦うことを誓いますと宣誓した写真。(中谷謙二) 三

# 「ティール」 子どもら楽しむ

## 世田谷でイベント

投手が投げる代わりにティールスタントに置いたボールを打つ野球型スポーツ「ティール」の親子イ



ベントが23日、世田谷区の世田谷公園軟式野球場であり、親子ら約370人が楽しんだ。

日本ティール協会区連盟と区軟式野球連盟の主催。ボールはラシタン製で、3アウトではなく、1チーム全員が打ち終わると攻守交代するルール。塁を回って得点を競うのは野球と同じで、区内の少年野球チーム10チームは交流戦で、そのほかの子どもたちはゲーム形式で楽しんだ。

プロ野球選手になりたいという高浪圭佑君(6)は大きな当たりを放ち、「面白かった」と話した。

日本高校野球連盟は「高校野球200年構想」の中でティールの普及に力を入れるとしており、都高野連の武井克時専務理事らも訪れて声援を送った。

■ティーボール教室の会場一覧

| 開催日時       | 担当校     | 会場              |
|------------|---------|-----------------|
| 12月1日午後2時  | 海城      | 学校グラウンド         |
| 2日午前10時    | 創価      | 東大和グラウンド        |
| 8日午前10時半   | 岩倉      | 西東京グラウンド        |
| 8日午後2時     | 八王子     | 未定              |
| 9日午前10時    | 明大中野    | 学校グラウンド         |
| 15日午前10時   | 桐朋      | 愛和保育園           |
| 16日午前10時   | 大森学園    | 学校グラウンド         |
| 16日午前10時   | 攻玉社     | 学校グラウンド         |
| 16日午前10時   | 日大二     | 立川グラウンド         |
| 18日午前10時   | 昭和一学園   | 学校グラウンド         |
| 22日午後1時    | 小岩      | 学校グラウンド         |
| 22日午後1時半   | 府中工     | 体育館             |
| 23日午前10時   | 永山      | 学校グラウンド         |
| 23日午前10時半  | 目黒学院    | 学校グラウンド         |
| 25日午前10時   | 杉並      | 学校グラウンド         |
| 26日午前10時   | 桜美林     | 桜美林幼稚園前         |
| 1月12日午前10時 | 東京実     | 鶉の木グラウンド        |
| 12日午後2時    | 日大鶴ヶ丘   | 総合グラウンド         |
| 13日午前10時   | 堀越      | 八王子総合グラウンド室内練習場 |
| 13日午前10時   | 佼成学園    | 総合グラウンド         |
| 13日午前10時半  | 小平南     | 学校グラウンド         |
| 16日午前9時    | 昭和      | 未定              |
| 19日午前10時   | 高島      | 未定              |
| 20日午前9時    | 明大中野八王子 | 学校グラウンドまたは体育館   |
| 20日午前9時    | 片倉      | 体育館             |
| 20日午前10時   | 東大和     | 体育館             |
| 20日午前10時   | 武蔵野北    | 学校グラウンドまたは体育館   |
| 20日正午      | 東村山西    | 学校グラウンド         |
| 20日午後1時    | 上水      | 学校グラウンド         |
| 27日午前10時   | 錦城学園    | 学校グラウンド         |
| 27日午前10時   | 日体大荏原   | 学校または多摩川グラウンド   |
| 27日午前10時   | 明星      | 学校グラウンド         |
| 27日午前10時   | 農大一     | 学校グラウンド         |
| 未定         | 東海大菅生   | 未定              |

※開催日時や会場は変更になることがあります

小さな子どもたちに野球の楽しさを広めようと、都高校野球連盟は12月から、都内各地でティーボール教

室を開催する。ティーボールはティーに置いた軟らかいボールをバットで打ち、ベースに向か

取り組む。指導者や高校球児も一緒に

るのが子どもたちが、野球

ティーボール教室開催 都高野連

つて走る遊び。今回の教室は、幼児から小学校低学年までの野球を始めていない子どもたちとその保護者が対象だ。会場となる学校の

日本高野連の調査では、全国の高校の硬式野球部員数は2014年をピークに減少。今年、15年ぶりに16万人を割り込んだ。野球離れを食い止めるかぎとな

と触れ合う機会をいっしょにとだとう。ティーボール教室の参加申し込み、問い合わせは各担当校の野球部または都高野連事務局(03・3409・5614)へ。(小林直子)

# ティーボールで楽しさ体感して

打つ子どもたち―新宿区の海城高校



## 都高野連、子ども向け教室

子どもたちに野球の楽しさを知ってもらおうと、都高野球連盟が1日、新宿区の海城高校でティーボール教室を初めて催した。近くの幼児から小学生までの約40人が参加。来年1月まで都内各地で催す予定だ。

ティーボールはティーに置いた軟らかいボールをバットで打ち、ベースに向かって走る競技。この日は子ども13人に同校野球部員1人が付いた。近くの吉岡樹八君(5)は笑顔で「打つ方が楽しかった」。同校

年)も「野球は楽しいと再認識した」と話した。日本高野連の調査では、全国の高校の硬式野球部員は2014年をピークに減少している。都高野連は来年1月、野球振興部を立ち上げ、野球の普及活動に本腰を入れる。武井克時専務理事は「教室を通して、野球をやったことのない親子に興味を持ってもらえたら」と期待している。

(小林直子)

野球部の百寸百五三子

東京都高校野球連盟ティーボール教室

2018年12月1日(土) 私立海城高校グラウンド 指導：海城高校野球部



東京都高校野球連盟ティーボール教室

2018年12月1日(土) 私立海城高校グラウンド (指導: 海城高校野球部)



東京都高校野球連盟ティーボール教室

2018年12月1日(土) 私立海城高校グラウンド 指導：海城高校野球部



## 私の視点

東京都世田谷区職員

投稿はsiten@asahi.comか、〒104・8011  
(住所不要)朝日新聞オピニオン面「私の視点」係へ。電子メディアにも掲載します。

よしかわ やすひで  
藤川 恭英



2020年東京五輪・パラリンピックの機運を盛り上げるためのイベントが、都内各所で開かれている。しかし、五輪・パラリンピック後どのようなレガシー(遺産)を残し地域がどのように変わっていくのかは、都民にはいまだにみえない。また関心も薄いように思われる。

文部科学省は新学習指導要領に「パラリンピック」の文言を随所に記載した。五輪・パラリンピックを契機に、障害者への理解、多様性を認め合い、共生社会を目指す上で大きな出来事である。学校では、国際パラリンピック委員会の公認教材「I'm POSSIBLE」を活用した教育実践の報告などもある。しかし、これら学校の教科の取り組みは、教材としてのパラリンピックで終わってしまう可能性があり、地域社会への広がりの中で課題が残る。

学校での学習を地域社会へと広げていくには、生活課題に密着した、より実践的な取り組みが必要ではないだろうか。そこで私は「コミュニケーションデザイン」の方法を探り入れるべきだと考える。コミュニケーションデザインとは、人と人との良好なつながりによって地域の課題を解決し、同時に新たな価値を生み出す仕組みを創造していくことだ。

私は公務員として、20年ほど前に区立児童館で中学生を中心に、コミュニケーションデザインの活動に取り組んだ。そこでは、アイマスクを着け

## 中高生を未来の遺産に

オリパラ精神と地域

て視覚障害の疑似体験をしたり、身近にある障壁を車椅子で体感したりする事業を、約半年にわたって実践した。その際、地域の福祉作業所、中学校、PTA、おやじの会、スパーマーケット、鉄道会社など、多くの地域の人の協力を得た。

また、パラリンピック種目にもなったボッチャや車椅子ダンスなどの障害者スポーツも採り入れた。中学生たちが地域社会の課題に自らが問いを立て、自発的に解決するきっかけのプログラムであった。

しかし、パラリンピック教材を地域社会の課題として実践するには、教員はあまりにも多忙だ。また、学校は教育委員会が取り仕切っており、五輪・パラリンピック、福祉保健、都市整備などの担当は市長や区長などに直属する部署である。この縦割りを超える仕組みが必要だ。

そこで、学校の学習とコミュニケーションデザインを持続的な関係として構築するため、地域の児童館や青少年施設などで、中高生が自発的に取り組むプログラムづくりが必要だと考える。12年ロンドン大会でも学校から家族・地域を巻き込んだ成功事例がある。機運を盛り上げるイベントも大切ではあるが、同時に地域活動で中高生を「レガシー・リーダー」として育てていく。中高生が地域を巻き込むことで、彼ら・彼女ら自身が東京2020の「レガシー」となるのではないだろうか。



資料編 4. 日本野球連盟「ティーボール教室」

東京ガス野球部ティーボール教室  
2018年10月23日(火) 文教大学附属幼稚園 (品川区)



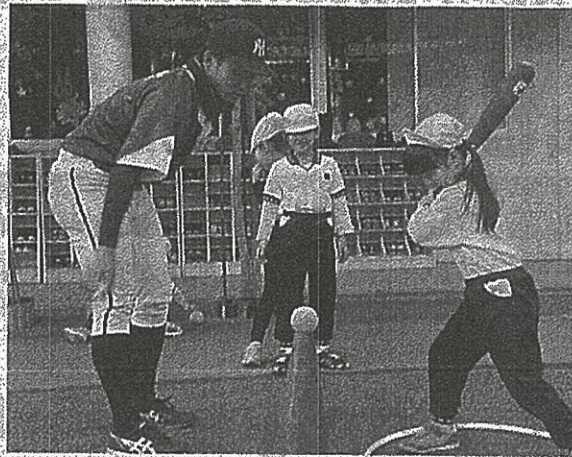
資料編 4. 日本野球連盟「ティーボール教室」



資料編 4. 日本野球連盟「ティーボール教室」

日本ウェルネススポーツ大学東京野球部ティーボール教室  
2018年11月13日(火) 成増幼稚園 (板橋区)





## ティーボール 園児熱心に

八王子 社会人野球選手が指導

社会人野球の明治安田生命は26日、八王子市東浅川町の「高尾幼稚園」(小山布由奈園長)でティーボール教室を開いた。写真。年長の園児約120人が、吉田大成選手(23)や森龍馬選手(23)ら6人の指導を受けた。

ティーボールはコーンの上に乗せた軟らかいボールをバットで打つスポーツ。競技人口を広げる目的で日本野球連盟が普及に取り組み、加盟する各地の社会人野球チームの選手たちが教えている。

教室に参加した幡野萌南ちゃん(5)は楽しかった。(選手)お兄さんたちはカッコよかった。ボールやバットの奇贈を受けた小山園長は「初めてバットを振ったり、選手に触れ合った子どもも多く、いい機会になりました」と話していた。

プロ野球・ヤクルトへの入団が決まっている吉田選手は「小さい子供たちが野球の楽しさに触れるきっかけになれば、自分たちも初心に帰るようでした」と語った。(野倉恵)